

取組概要	ネットワーク化	統合	多様な組織の参画	棚田振興	スマート農業
	○	○	○		○

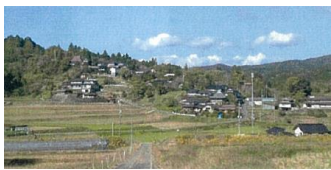
広域多団体ネットワークによる、それぞれの「得意」を活かした持続可能な集落の実現

- 「集落協定」「農村RMO」「農事組合法人」による相互支援で持続可能な農村を創造
- 人口減少を見据えた地域管理構想を策定し、現実的かつ最適な土地利用を実現

集落の課題

人口減少と農地の荒廃

- 人口減少が進む過疎地であり、担い手が不足して農地の荒廃が懸念されている。
- 傾斜地に水田や畑、家屋が点在し、農地では水稻や大豆、野菜などがばらばらに栽培され整然としない土地利用が散見されていた。



【吉地区の取組箇所】

取組内容

地域管理構想を活かした耕作体系の立案と、スマート農業等の推進

- 農村RMO吉縁起村が中心となり、地域管理構想（※）の策定作業を通じて、農地の特性や利用状況に応じたゾーニングを行い、効率的な土地利用を推進。特に荒廃農地には、粗放的作物の栽培を検討し、最適な土地利用計画を策定。
- 協議会型によるネットワークを形成し、スマート農機具（リモコン草刈り機・ドローン）を共有し、低コスト・低負担の農用地管理を推進し、実施面積を拡大。
- 地域おこし協力隊などの参画を進め、主導的な役割を担う人材1名を採用するなど事務局体制を強化。
- 鳥獣被害対策として、中心部の農地に複合柵を整備。集落や農地と森林の境界に緩衝帯を整備し、草刈り等を実施。
- ため池と、そこからの農業用排水路を使う農地で生物多様性を保全し、生き物調査を継続して、関係人口の創出と農産物のブランド化を図る。



【ドローンによる水稻直播】

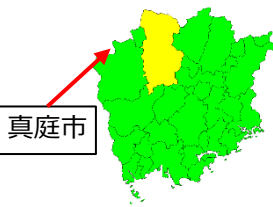
取組の成果又は目標

地域の方向性を明確にした活動

- 地域管理構想に位置づけたことで、地域資源の活用や生活支援など、農地以外を含めた地域全体の方向性を議論し、まとめることができた。
- そうした方向性を見据えて、農事組合法人と農村RMOの協力を得て農用地を保全。具体的には、以下のとおり。
 - ① スマート農業機械のシェアやドローンによる播種、防除などの作業受託を農事組合法人が行い、より低コストで効率的な作業を実施
 - ② 荒廃農地を中心に粗放作物（カメラナ）を実証

取組地域の概要

○位置



真庭市

○地域の概要

- 真庭市の南部で、吉備高原の北限に位置し、山上に集落や畑、谷間に小規模の水田がある。

○主要作物

- 水稻、プリンセスサリー（長粒米）
- カメラナ（アブラナ科の作物）

○集落協定の概要（R7現在）

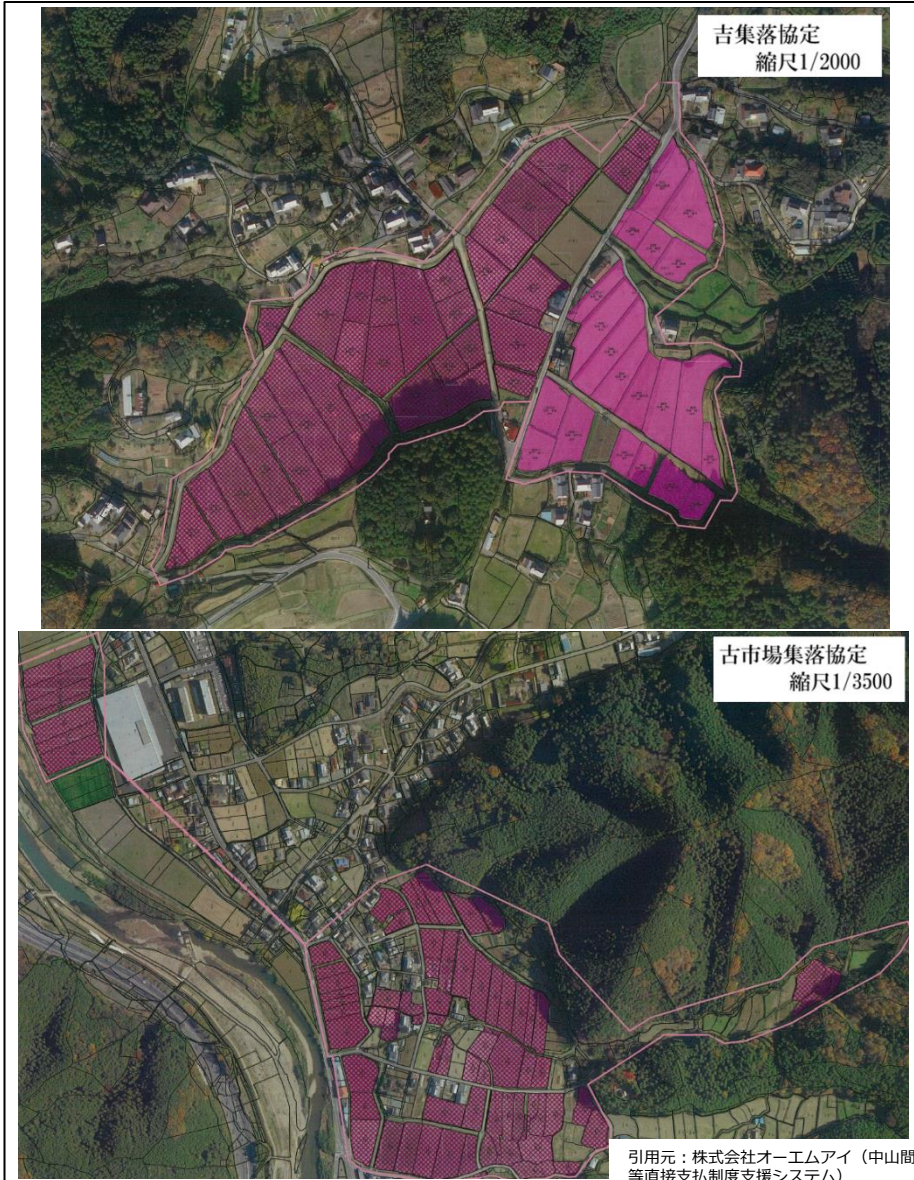
面積：20.4ha(田)(急傾斜3.6ha、緩傾斜16.8ha)
 0.07ha(畑)(緩傾斜0.07ha)
 交付金額：453万円(うちネットワーク化加算140万円、スマート農業加算102万円)
 構成員：農業者48人、農事組合法人1人
 連携組織：農事組合法人、農村RMO
 協議会開始：令和7年度

※ 地域管理構想とは？

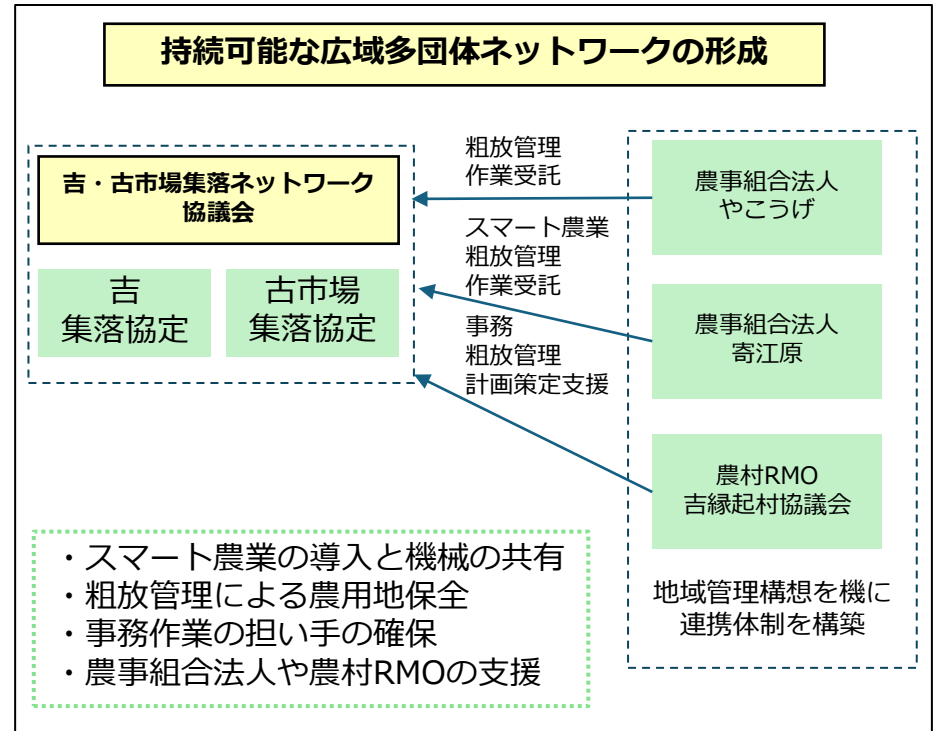
国土交通省が令和3年にとりまとめた「国土の管理構想」に基づき、人口減少・高齢化が進む地域で、住民が自ら地域の将来像を描き、土地の利用・管理のあり方を地図化し、行動計画としてまとめる取組の一つ。

(参考資料)

① 位置図



② 体制図



③ 取組の様子



【ドローンによる播種の様子】



【リモコン草刈りの様子】

取組概要	ネットワーク化	統合	多様な組織の参画	棚田振興	スマート農業
		○	○	○	○

棚田地域振興活動加算を活用した「旧宮守村棚田」の保全と関係人口拡大の取組

- 棚田地域振興活動加算を活用した「旧宮守村棚田」での農業体験会の開催等により、集落の関係人口が拡大
- ドローン導入や鳥獣被害防止対策、ECサイトでの販売活動による特産加工品等の売上増加により、集落の生産力・意欲が向上

集落の課題

高齢化・担い手不足

- ・農作業者の高齢化に伴い、急傾斜が多い農地の維持管理が一層困難になっており、耕作放棄の発生が懸念
- ・担い手不足により、将来の農業生産活動の継続に不安



【旧宮守村棚田】

取組内容

棚田地域振興活動加算を活用した棚田保全・地域活性化

- ・平成27年度に迷岡地区1協定と宮守地区2協定を広域化により統合し、「迷岡・宮守川上流集落協定」として活動
- ・「一集落一農場」をスローガンに、農事組合法人宮守川上流生産組合が主体となり、農業生産活動の共同化・省力化に取り組むとともに、地域で生産される農産物を加工し販売
- ・令和3年度からは、棚田の保全やより一層の地域振興を図ることを目的とし、棚田地域振興活動加算の活用を開始

第5期対策の主な活動内容

棚田保全：農業用ドローン1台の導入、オペレーター育成による共同防除の実施

生産拡大：棚田地域の農産物を活用した特産加工品の開発、ECサイトの開設

地域振興：NPO法人と連携した農業体験会等の開催



【棚田での農業体験会の様子】

第6期対策の取組・目標

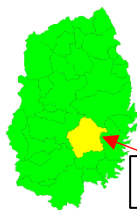
農地の維持、関係人口の拡大

- ・第5期対策で実施した棚田地域振興活動加算の取組内容を拡充し、農業生産力の維持・強化と関係人口の拡大を図る

第6期対策の目標	令和11年(目標年)
農地有効活用のための栽培試験等の実施	2事例以上
消費者への直接販売拡大	売上高10%増
鳥獣被害防止の電気牧柵の設置拡大	5 km延長
地域内外から棚田を応援する「宮守棚田funファンクラブ」の活動を充実させ、農業体験会の参加人数を確保し、関係人口の創出を図る	農業体験会参加人数延べ100人
ワーキングホリデー等の農業研修の受入れを行い、関係人口の創出を図る	農業研修受入延べ10人

取組地域の概要

○位置



遠野市

○地域の概要

- ・遠野市宮守町に位置し、一級河川支流の宮守川上流沿いの平地や山地斜面、沢合いに農地が点在している地域

○主要作物

- ・水稻、トマト、ブルーベリー

○集落協定の概要(令和7年現在)

面積：109.6ha(田)(急傾斜97.6ha、緩傾斜12.0ha)
 (うち棚田加算63.2ha)

交付金額：3,036万円

(うち棚田加算715万円、スマート農業加算175万円)

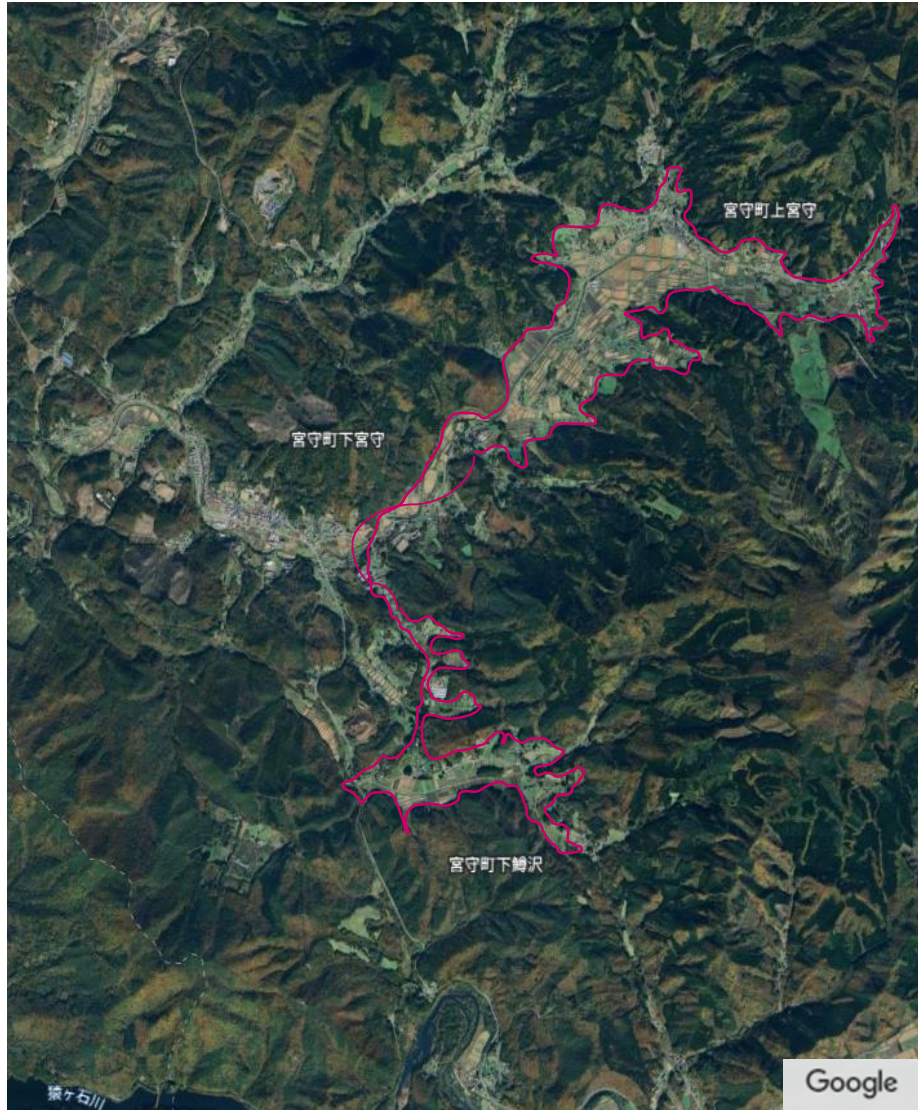
構成員：農業者109人、地域関連団体9団体

連携組織：多面的機能支払活動組織

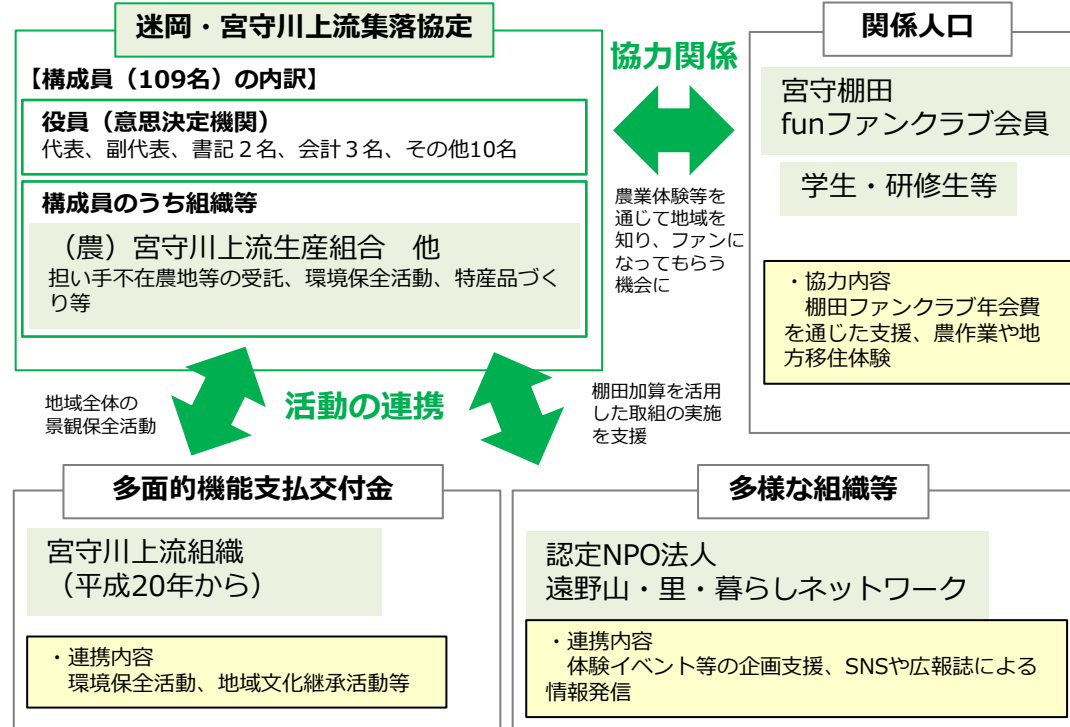
協定開始：平成12年度(平成27年度に統合)

(参考資料)

① 位置図



② 体制図



③ 取組の様子



【棚田加算で導入したドローン】



【集落の特産加工品】

取組概要	ネットワーク化	統合	多様な組織の参画	棚田振興	スマート農業
	○		○	○	○

7つの集落協定からなる協議会を組織し、棚田地域の活性化に向けた取組を行う

- 中山間の各協定・農協・コミセン等でまとめり棚田地域振興活動加算に取り組むことで、地域資源の活用・活性化を目指す
- 課題解決にあたり3つの部会（棚田保全、地域活性化、魅力創造）を組織することで、きめ細やかな対応が可能に

各組織の共通課題

高齢化が進行する集落

- ・中山間直払制度に取り組むに当たり、高齢化・担い手不足による農地の荒廃が懸念
- ・貴重な地域資源が活かされず、次世代へ継承されない懸念



【深山の棚田】

取組内容

機械化による作業負担減、地域資源の保全・活用

- ・集落協定ごとに自治会も参加したワークショップ形式の話し合いを重ね、集落戦略を作成。
- ・各協定の戦略の中から連携した活動が可能な項目を集約し「白鷹北部地区棚田地域振興活動計画」を策定。棚田加算分を協議会の資金として集約することで、地域全体で課題解決に取り組む。
- ・個々の集落協定では購入が困難なラジコン草刈機等の機器を協議会として購入し、共同利用することで草刈りの省力化を実現。
- ・協議会で作付けした水稻品種「山形95号」の名称を町民へのアンケートで募集し「白鷹ほまれ」と命名。商標登録を行い、各地域のお祭りや町のイベント、ふるさと納税にて出品。
- ・地域の若手農業者団体に特産品開発に係る補助を行い、地域資源を活かした特産品の開発を促進。



【購入したラジコン草刈機】

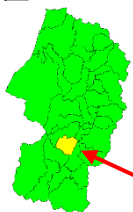
取組の成果又は目標

作業の省力化、棚田米の展開

- ・ラジコン草刈機を活用し、作業の省力化を進めることで耕作放棄地の発生を抑制。実績として農地や農道、法面の草刈面積を約4.2haまで拡大した。
- ・棚田米「白鷹ほまれ」を町外で開催するイベントに出品し、知名度の向上を図る。
- ・地域内の湧水を活用して生産したわさびを使用し、「わさびいなり」等の商品を開発。地区のお祭りやイベントにて販売を行った。

取組地域の概要

○位置



白鷹町

○地域の概要

- ・白鷹町北部に位置し、里山に囲まれた細長く伸びる谷津田に点在している地域

○主要作物

- ・水稻

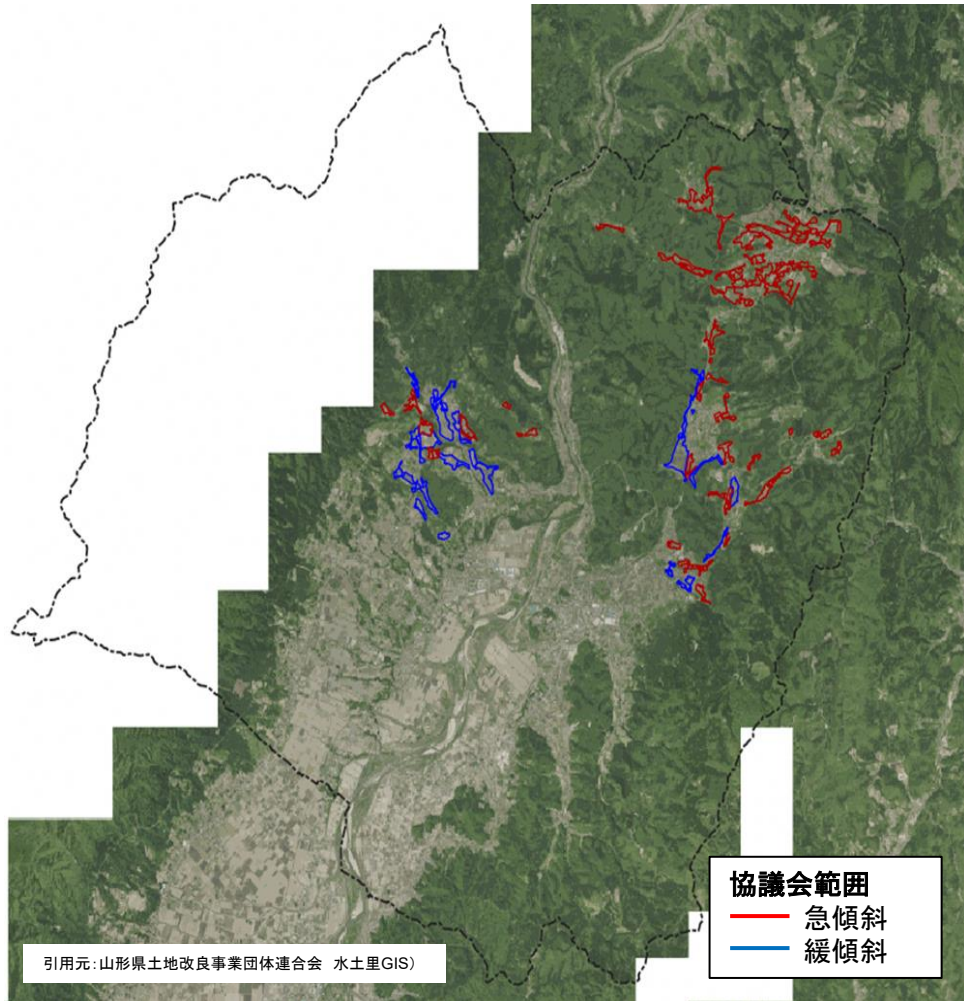
○集落協定の概要(令和7年現在)

面積：227.9ha(田) 2.9ha(畑)
 (うち急傾斜122.2ha(田) 2.1ha(畑))
 交付金額：4,681万円
 (うち棚田地域振興活動加算1,244万円)
 構成員：7集落協定、自治会6団体、
 農協、各地区のコミュニティセンター、
 白鷹町観光協会、白鷹町商工会

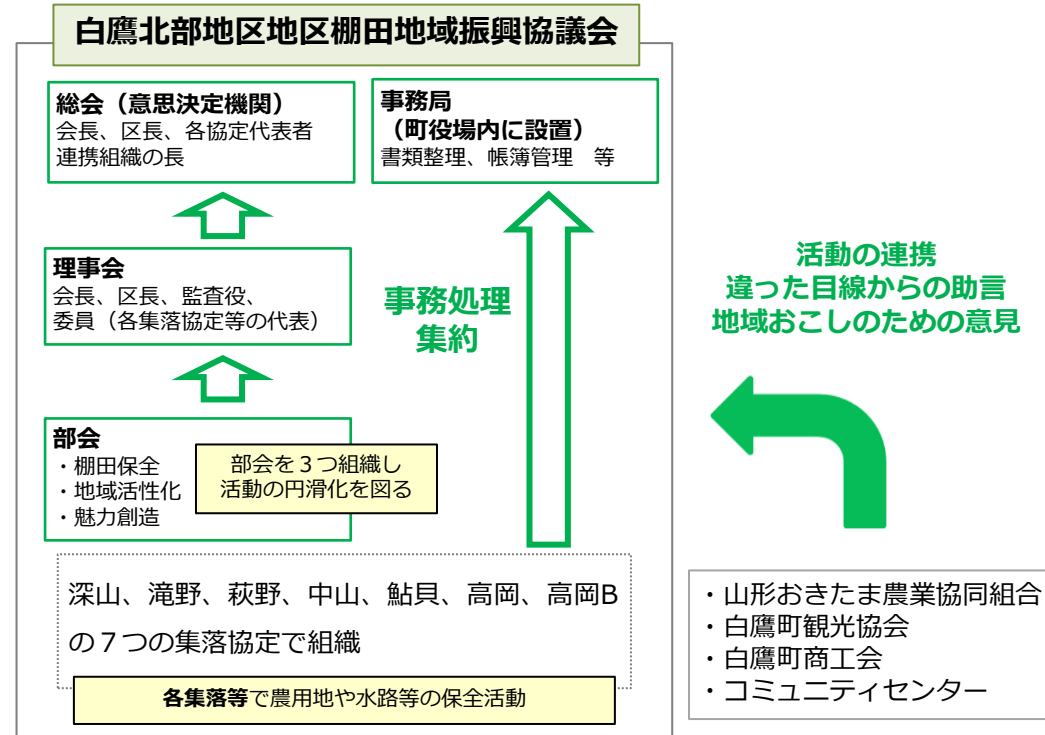


(参考資料)

① 位置図



② 体制図



③ 取組の様子



【ラジコン草刈機の活用】



【棚田米命名イベントの様子】